

中心市街地活性化

松井 邦人（富山市議会自由民主党）



問 本市が将来を見据えた中心市街地の魅力ある空間づくりに部局横断で取り組んでいくことについての見解は。



答 中心商業地区を「たまに使う場所」から「日常的に立ち寄れる居場所」へ構造的に変化させることが必要であり、まちづくりや商業振興の担当部局だけでなく、関連部局が連携し、部局横断の視点で、総合的にまちづくりに取り組んでいくことが必要と考えている。さらに、本市だけではなく、民間事業者も含め、「オール富山市」で戦略的に取り組んでいくことも重要であると考えている。（市長）

【質問項目】

▼予算編成方針 ▼上下水道事業 ▼中心市街地活性化

（仮称）とやまくすりミュージアム整備・運営事業

高田 真里（富山市議会自由民主党）



問 （仮称）とやまくすりミュージアム整備による本市の将来像をどのように描いているのか、市長の見解は。



答 観光交流等の面では、市内観光での滞在時間延伸や北陸エリアを含む広域的な観光資源となること、ヘルスツーリズムの推進にもつながる可能性がある。また、産官学民連携の施設として学生や研究者等が行き交う場となることを目指している。さらに、次世代を担う小中学生が郷土への愛着等を育み本施設での学びと体験が薬業等の分野を志す契機となり、地域の未来を支える人材育成にもつながると確信している。（市長）

【質問項目】

▼（仮称）とやまくすりミュージアム整備・運営事業
▼富山市まちなか診療所の所管の変更 ▼音楽のあるまちづくり

富山市・医師会急患センターの混雑状況の改善

金岡 貴裕（自由民主党）



問 他の自治体で導入が進む、診察番号の電光掲示や車中待機者へのショートメッセージサービス通知、混雑状況のオンライン表示等、診察の進捗状況の「見える化」の仕組みを導入すべきと考えるが、見解は。



答 電光掲示板など、診察前後の待ち時間の目安や診察の進捗状況が確認できる仕組みの導入については、他都市の取り組みを調査しながらどのような仕組みが混雑状況の「見える化」として効果的なのか、費用対効果を踏まえながら、富山市医師会と引き続き検討していきたい。（福祉保健部長）

【質問項目】

▼クマ出没への総合対策 ▼富山市・医師会急患センターの混雑状況の改善

クマ対策

織田 伸一（富山市議会自由民主党）



問 地域の主体的なクマ対策の効果を高めるには、市が行っている支援の要件見直しや拡充が必要と考えるが見解は。



答 人身被害防止にはクマを集落に寄せ付けない活動が重要で、市では放任果樹の伐採等を行う自治振興会に支援をしている。この支援は、住民が活動に取り組みやすくなるよう単価を増額する等、6年度から毎年制度を見直しており、多くの自治振興会から申請があった。今後も実情に応じた見直しで活動を市内全域に浸透させる必要があり、支援形式等さまざまな観点から制度の見直しを検討したい。（農林水産部長）

【質問項目】

▼クマ対策

子宮頸がんワクチン接種

柏 佳枝（公明党）



問 男性もHPV感染で肛門がん等に罹患するリスクがありワクチン接種で予防することができる。子宮頸がん等HPV関連がんの減少には男女共に予防が重要であり各自治体で接種費用助成を開始する動きがある。本市も男性のワクチン接種費用の助成ができないか。



答 国では、男性への定期接種化に向け安全性や費用対効果等の検討課題の議論が進められている。市では国での議論の結果を踏まえて、助成制度の有無を含めた内容を検討することが適切と考えており、引き続き国の議論の動向を注視していきたい。（福祉保健部長）

【質問項目】

▼物価高騰対策 ▼防災減災と共生社会の関わり
▼子宮頸がんワクチン接種

とやま市漁協の市場統合

豊岡 達郎（富山市議会自由民主党）



問 岩瀬市場と四方市場の統合によって期待される効果は。



答 水産物の集約化による価格形成力の強化、市場業務の効率化、衛生管理による付加価値の向上等が挙げられ、市場取引の活性化や漁協の経営安定化につながると期待される。岩瀬市場が四方市場と統合することで、県内の産地市場としては氷見、新湊に次ぐ取扱量となり、一定規格の漁獲物を多く揃えることができ、魚価の安定や向上が図られ、効率的で活発な市場運営や漁業者の安定的な収入、担い手の確保にもつながるのではないかと考えている。（市長）

【質問項目】

▼家庭ごみ有料化 ▼とやま市漁協の市場統合 ▼DXの取り組み
▼物価高騰の影響を受ける中小企業等

病院事業局職員の勤務条件等

村石 篤 (立憲民主党)



問 8年度からLDR^(*)においてバースプランの調整や家族支援を含め、総合的なケアを提供することから、助産師の増員が必要と考えるが、見解は。



答 陣痛から分娩、産後の回復までを同じ個室で行うことで、妊産婦の身体および精神的な負担を軽減するものだが、市民病院では妊産婦に対する総合的なケアは現在も行っており、LDR室の整備に伴う増員は考えていない。一方で、政策医療として小児・周産期医療の充実を図っており、状況に応じた適正な人数の助産師を計画的に採用・育成したい。(病院事業局管理部長)

【質問項目】

▼病院事業局職員の勤務条件等 ▼会計年度任用職員制度 ▼消防局職員の勤務条件等

*LDR…陣痛(Labor)、分娩(Delivery)、回復(Recovery)の略

本市の不登校対策

飯山 勝彦 (富山市議会自由民主党)



問 古志はるかぜ学園のコンセプトである「This is my school」を実現するために、どのような教育活動を展開していきたいと考えているのか。



答 不登校等の児童生徒が安心して学びを再スタートできるよう、従来の学校の枠組みにとらわれず、学校を自分たちでつくり上げていくような教育活動を展開したい。また、イェナプラン教育^(*)の理念等を取り入れ、一人ひとりの学習状況等に寄り添うことを大切にしたい。加えて、浜黒崎海岸等の豊かな環境を活用した自然体験等も児童生徒と相談して実施したい。(教育長)

【質問項目】

▼地鉄バス路線の廃線 ▼本市の不登校対策 ▼地域猫の避妊、去勢手術

*イェナプラン教育…ドイツで始まりオランダで広がった、一人ひとりを尊重しながら自律と共生を学ぶオープンモデルの教育

牛岳温泉スキー場エリアの将来ビジョンと活性化

金谷 幸則 (富山市議会自由民主党)



問 牛岳温泉スキー場エリアを今後どのような姿に再生し、活性を図っていくのか、市長の思いは。



答 市が策定した将来ビジョンでは、県内および近隣のファミリー層を主なターゲットに、レジャー感覚で楽しめる場所として魅力向上を図り、地域活性化の拠点として年間を通じて何度も訪れたい場所を目指すこととしている。今後は牛岳温泉スキー場等4施設を一体的に運営する指定管理者制度を10年度から導入し、持続可能で効率的な運営体制を確立するとともに、連携して山田地域の活性化に努めたい。(市長)

【質問項目】

▼牛岳温泉スキー場エリアの将来ビジョンと活性化

観光振興と鉄軌道の活用

藤田 克樹 (自由民主党)



問 自家用車で来訪する観光客が、富山市を拠点として鉄道で周遊し富山で飲食や宿泊を楽しむ「富山ベースキャンプ型」観光を進めてはどうか。



答 「ベースキャンプ型」観光は、市内での滞在時間を伸ばすことで地域経済へ一定の効果が見込める。市は観光客の回遊性向上と公共交通の利用拡大のため、宿泊者に市内電車割引券等を配布している。その利用実績は増加しており、公共交通を活用した観光の広まりを認識しているため、今後「ベースキャンプ型」観光の可能性や課題を調査・研究していきたい。(商工労働部長)

【質問項目】

▼伝統芸能・文化の保存継承 ▼観光振興と鉄軌道の活用

本市の有機農業・オーガニックビレッジの未来

木地 智美 (富山市議会自由民主党)



問 有機農業の推進に向け、これまでどのような取り組みを行ったのか。また現在の取り組み面積の状況と課題は。



答 市では富山市有機農業実施計画に基づき、学校給食での有機米の提供や有機農業者等との協働によるオーガニックビレッジお弁当の販売等、有機農業の普及啓発と消費拡大を図っており、6年度末の取り組み面積は、約117ヘクタールで徐々に増えている。さらなる拡大には新たな農家の参入が必要であるが、農家からは収穫量低下等を心配する声もあるため取り組みやすい環境の整備が課題である。(農林水産部長)

【質問項目】

▼COP30と本市の国際展開事業 ▼本市の有機農業・オーガニックビレッジの未来

富山地方鉄道バス路線の廃止等

尾上 一彦 (会派 誠政)



問 バス路線が廃止された細入地域において、大沢野地域で運行している「大沢野シルバータクシー」の細入地域への運行エリア拡大の試行運行を8年1月から3月末まで予定しているとのことだが、試行運行について、どのように周知するのか。



答 運行エリア拡大の周知方法は、現在、案内チラシを作成しており、そのチラシを各戸配布する準備を進めている。細入地域のご家庭には、近日中に届くと考えている。

(活力都市創造部長)

【質問項目】

▼富山地方鉄道バス路線の廃止等 ▼本市が管理する街路樹等

G I G Aスクール構想(一人1台端末の整備) 細川 博徳 (公明党)



問 学習機会の格差につながりかねない家庭学習時の通信環境差への対策は。

答 本市では2年度より、家庭においても一人1台端末を活用した子どもたちの学びを保障するため、Wi-Fi環境が整っていない就学援助等を受けている家庭へのモバイルルーターの貸与やその通信に要する費用の支援を継続している。モバイルルーターは6年度は70世帯、7年度は11月末現在で61世帯に貸し出ししている。家庭における通信環境の格差により、子どもたちの学びを止めることがないよう、今後も支援を継続していきたい。(教育長)

【質問項目】

▼若者の定住戦略と施策 ▼G I G Aスクール構想
▼呉羽山公園展望台の周辺整備



家庭ごみの有料化(本市のごみ有料化に向けた説明会等の取り組み) 岡部 享 (立憲民主党)



問 物価高に苦しむ市民生活を考慮し、8年6月の有料化に関する条例改正は見送るべきと考えるが、見解は。

答 家庭ごみの有料化は一般廃棄物の排出抑制等に有効な手段の一つと考えており、意見交換会でも、導入に慎重な意見があった一方で、「生活環境や将来世代の負担軽減の観点から必要な取り組み」との意見も多くいただいている。現在、環境審議会で審議されている素案では、8年6月定例会に条例改正に関する議案を提出する案を示しているが、最終的な議案提出の時期は適切に判断すべきと考えている。(環境部長)

【質問項目】

▼家庭ごみの有料化 ▼学校選択制と中学校の35人学級の実施
▼養護教諭の人員確保 ▼保育施設における不適切保育等への対応



富山地方鉄道鉄道線 舎川 智也 (富山市議会自由民主党)



問 不二越上滝線の活性化にあたっては南富山駅周辺地区のまちづくりと連動して取り組むべきでは。

答 多様な世代が行き来する南富山駅で乗り継ぎ機能の強化や駅関連施設の整備等を図ることで滞留人口が増加し、周辺の賑わい創出や地域の活性化につながることを期待される。また、駅周辺の低未利用地の有効活用を進めることで、エリアの価値が高まり、鉄道利用者がさらに増加すると考えている。これらのまちづくりを一体的に進めることで、より大きな投資効果が得られると考えている。(活力都市創造部長)

【質問項目】

▼富山地方鉄道鉄道線 ▼スポーツ協会によるスポーツ施設の指定管理



持続可能な公共交通への対応 江西 照康 (自由民主党)



問 富山地方鉄道不二越上滝線の再構築事業の実施に際しては、乗車人数を事業継続のための条件として事前設定すべきと考えるが、見解は。

答 鉄道事業再構築実施計画における事業効果としては、利便性向上と利用者数増加の目標を掲げる必要がある。不二越上滝線も乗車人数の増加を目指す。当該事業はまちづくりと一体となったプロジェクトとして取り組むものであり、事業継続条件に乗車人数設定は考えていないが、実施計画の策定と合わせ効果検証等を行う仕組みの導入も検討したい。(活力都市創造部長)

【質問項目】

▼持続可能な公共交通への対応 ▼地震、洪水など自然災害への対応



フラワーハンギングバスケット事業 久保 大憲 (自由民主党)



問 企業・団体や個人から広告費を兼ねた協賛金を集めてはどうか。

答 本事業は、労務単価等の高騰により、年々予算確保が厳しい状況となっているため、事業費の抑制に努めてきた。こうした中、ハンギングバスケットに企業名や商品名を記載して、協賛金を募る手段については、新たな財源確保の手段になり得ると考える。一方で、どの程度の協賛金が集まるのか、また企業名等の記載位置や大きさ等、整理すべき課題もあることから、「企業版ふるさと納税」を活用する等、その他の手段も併せて幅広く検討したい。(建設部長)

【質問項目】

▼富山地方鉄道不二越・上滝線 ▼家庭ごみの有料化 ▼くすりの関連施設
▼フラワーハンギングバスケット事業 ▼職員の労働環境の改善



四季折々の花で街なかを装飾するハンギングバスケット

空き家対策

市田 龍一（政風会）



問 増え続ける空き家への対応は、担当課のみならず市全体で取り組む必要があると考えるが、見解は。

答 空き家対策は、民間事業者等との連携や福祉等さまざまな分野での「空き家対策の視点」を盛り込んだ施策の実施等、分野横断的な取り組みが必要だ。この実現に向け、課題等を市全体で共有し空き家対策と連携した取り組みの検討を指示した。引き続き、適正に管理されない空き家の発生抑止等について、民間事業者等との連携強化による施策に取り組み、良好な住環境の確保等に向けた対策を進めたい。（市長）



【質問項目】

- ▼副市長 ▼政策アドバイザー ▼未来へつなぐとやま伝統芸能の祭典
- ▼空き家対策 ▼富山市総合体育館Rコンセッション事業 ▼災害対策

加齢性難聴者の補聴器購入費助成制度

赤星 ゆかり（日本共産党）



問 7年9月定例会で市長が前向きに検討するとの意思を表明後、着実に制度導入に向けての検討が進められているのか、その状況は。

答 本市における加齢性難聴の方への補聴器購入費用の助成制度は、現在、先行自治体の取り組み状況の調査・研究を進めるとともに、富山市医師会や認定補聴器専門店等との意見交換を重ね、対象者の範囲や助成額、手続き方法等について検討を進めている。引き続き、本市の実情に即した制度となるよう、可能な限り早期の導入を目指して準備を進めたい。（福祉保健部長）



【質問項目】

- ▼不登校、多様な学び、居場所づくり
- ▼富山市の公共施設だった「古洞の森」への支援 ▼家庭ごみ有料化
- ▼クマ対策 ▼富山地方鉄道株式会社の路線バスの廃止
- ▼加齢性難聴者の補聴器購入費助成制度

街路樹

村上 和久（太政）



問 沿線住民が苦勞する落ち葉の清掃活動を軽減するため、ブローワーの貸し出し等を検討すべきと考えるが、見解は。

答 市では、落葉時期に車道の落ち葉収集をしているが、歩道は行政の維持管理だけでは対応しきれないため、沿線住民の皆さまに自宅前の歩道の落ち葉収集に協力いただいている。こうした中、ブローワーの貸し出しは負担軽減策として大変有効な取り組みであると考えている。一方で、同時期に申し込みが集中する等の課題も考えられることから、今後ブローワー台数の確保や受付等の運用方法を検討していきたい。（建設部長）



【質問項目】

- ▼市長の政治信条とシビックプライド ▼家庭ごみ有料化
- ▼富山市大学生等定住促進事業 ▼街路樹
- ▼（仮称）とやまぐすりミュージアム

富山市公設地方卸売市場再整備事業

大島 満（政策フォーラム32）



問 本市がリースしている建物の所有者が、事業代表企業ではない理由は。

答 事業代表企業からリース会社を施設の所有者とすることで資金調達の際の金利が有利となり、整備内容の充実を図れるとの提案があった。提案の利点を生かしつつ、事業代表企業が責任を放棄することのないよう、リース会社は募集要項等の趣旨を理解し、市場再整備事業について必要な責任と負担を負うこと、事業代表企業はリース会社の行為に連帯責任を負うことなどを条件とし、3年11月にリース会社の施設所有を承諾した。（農林水産部長）



【質問項目】

- ▼富山市公設地方卸売市場再整備事業 ▼富山地方鉄道株式会社

在留外国人の国民健康保険料の収納率

金井 毅俊（日本維新の会）



問 厚生労働省は、在留外国人の保険料一括納付を自治体の判断で導入できるようにしているが、本市の考えは。

答 厚生労働省は、外国人の国民健康保険料収納率が低いため、その対策に入国1年目の保険料を一括納付する仕組みを8年度から各自治体で導入できる準備をしている。本市での導入には、現行システムに対象者判定機能等の追加が必要だが、今後導入予定の基幹業務システムの標準化には、これらの機能が備わる見込みで費用対効果や他自治体の状況を勘案し一括納付導入の是非や時期を検討したい。（福祉保健部長）



【質問項目】

- ▼在留外国人の国民健康保険料の収納率 ▼在留外国人の国民年金保険料

DV、ストーカーの対応

福田 敏彦（未来をつくる）



問 被害者の生命・身体の保護を最優先とする対応が必要と考えるが、DV、ストーカーに対する市長の基本姿勢は。

答 被害者の身に危険が迫っている場合は、県警察等関係機関とともに生命・身体の保護を最優先に対応している。一方、早期支援のため、民間の支援団体等と連携した相談支援体制の構築に努めるほか、市関係所属による部局横断体制で相談等にも対応している。一人ひとりの人権が尊重されることが何より重要と考えており、公約に掲げる「女性や若者が生き生きと活躍できるまち」の実現に取り組んでいきたい。（市長）



【質問項目】

- ▼犯罪のない安全で安心な暮らしの実現 ▼DV、ストーカーの対応
- ▼安全点検パトロール活動の充実・強化